

## ネットワーク友枝まち歩きチーム 第6回さあ、行こう!まち歩き会

3月11日(日)ネットワーク友枝では「第6回さあ、行こう!まち歩き会」を開催し、ロマンの池、矢方池と西吉富の古跡巡りを行いました。数回の下見の時にはまだ寒く、本番では暖かな好天気に恵まれることを願っていましたが、途中からあいにくの時雨模様となり、参加者は景観を堪能することもできず、強風に押されるように足早になり、予定より1時間早くゴールしてしまいました。

それでも貴富地蔵堂、覚円寺薬師如来像、矢方毘沙門堂、緒方観音堂は日頃施錠されていて拝顔できない仏像ですが、自治会長さん方の計らいで特別に開けていただき、文化財係の方の説明にも感心しながら、大変有意義な遍路旅でした。

矢方池もゆっくり散策する予定でしたが雨のため断念しました。後日訪れてみると、つくしや枝垂れ桜、池にはたたえんばかりの水が心地よく、故人の功績の偉大さに頭が下がる思いでした。

今回のまち歩きに関して、回覧を回したり、ポイント周辺の掃除や説明をしてくださった西吉富地区の自治会長さん、昔のたずまいが残るお宅を拝見させていただいた中村さん、大変お世話になりました。スタッフ一同お礼申し上げます。



## 上毛町ファンクラブ

### 「上毛町ファン」増やし、交流促進

6月2日(土)～3日(日)、「有田グリーンツーリズム研究会」と合同で農村民泊を取り入れた体験型のイベントを行い、福岡市や北九州市といった都市圏の方を中心に19名が参加しました。「ほたる鑑賞」、「農村民泊」、「田舎あそび」の3つの柱で構成された1泊2日で、参加者に町の良さを体感してもらい、「上毛町ファン」を増やし、地域の内外に広くPRすることがねらいです。

1日目は、「農業体験(落花生の種付け)」を皮切りに、「ホテル籠づくり」「川魚釣り」「炊き出し(交流会)」「ホテル観察」を体験し、築上東MusicLovers'の演奏で幕を閉じました。体験指導やガイド役は、東上の有志の皆さんが、担当していただきました。その後東上(有田地区)の各家庭での民泊を体験しました。2日目は、巢雁山に登り、山頂からの絶景に一同感激した様子でした。

もっともっとたくさんの人に町の魅力を知っていただき、上毛町ファンクラブ会員を増やしていきたいです。

ただ今、会員募集中です。上毛町ファンクラブの「会員」になるには、二通りの形態があります。ひとつは、イベントスタッフやボランティアガイドとして参加したり、情報発信を行ったりすることで、町の魅力を伝える「PR会員」。もうひとつは、主に町外にお住まいで、上毛町に関心のある方を対象とした「ファン会員」です。ファン会員には、イベント情報のほか、旬な話題が届けられるようになっています。

問い合わせ先 上毛町ファンクラブ事務局 ☎ 080-3580-4832(山口さん)  
ホームページ <http://www.kogefan.com>



## 築上東 Music-Lovers' 巢雁コンサートプロジェクト 第2回東上文化祭

かつて東上には運動会、学芸会、八社神社奉納相撲など、学校行事を通して活気に溢れた地域でしたが小学校閉校後はみんなで集う機会もなくなり、あちこちで「寂しいね」と言う声が聞かれるようになりました。

そこで昨年思い立ったのが東上文化祭でした。芸能の宝庫東上を思わせる皆さんの18番披露とぜんざいの振る舞いは予想以上に好評で、今年の4月8日(日)、2回目を開催することになりました。

今回は作品展示や神社総代会の協力により、神輿、お囃子の競演もあり、多くの方々で賑わいました。中でも中村誠さんの死神に扮しての講談(?)は手間ひまかけた資料と絶妙な話しぶりに会場中が引き込まれ、抱腹絶倒でした。訪れたみなさんは早くも来年の出し物を楽しみにしているようです。

文化祭のポスターやプログラム、会場の幕や飾り付けなどもみんなの手作りです。東上のパワーを頼もしく感じた陽春のひとつでした。



## 安雲西交流会

### 地域内清掃活動及び研修会

5月13日(日)午前中、壮年会行事として地域における清掃活動を実施しました。なかでも区内4カ所に設置しているゴミ箱はどれも満杯状態だったので、みんなで分別作業を行いました。午後からは金色温泉で懇親会も兼ねての研修会を行い、年間の活動計画の確認をしました。

### 子ども会の歓迎会と看板製作

4月15日(日)子ども会による年度始めの恒例行事として歓迎会と看板を製作しました。看板にはイラストや文字を子どもたちがみずから思いを込めて描きました。できあがった看板は通学路に設置しました。新一年生2人も楽しく過ごせたようです。



## 友枝新聞発行し隊

### わくわく友枝瓦版16号発行!

2008年8月の創刊以来、年4回発行している瓦版の16号を発行しました。瓦版は町内で行われたイベントや出来事などをスタッフ自ら取材、編集し発行しています。16号では4月にオープンした「ゆいきらら」をはじめ3月末に行われた「田舎民泊モニターツアー」の様子などを写真入りで紹介しています。現在定期購読をしてくれる方を募集しています。詳しくは下記までご一報ください。

問い合わせ先 友枝新聞発行し隊 ☎ 72-2888(藤本さん)

